

事業概要

目的

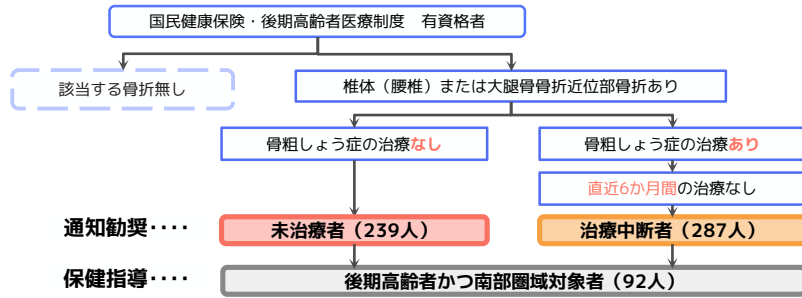
- 骨粗しょう症による再骨折の可能性を伝えることで、適切な検査と治療へ誘導し、健康寿命の延伸と医療費介護費の適正化を推進する。

背景

- 「骨折・転倒」は日本人の介護主要因の3位であり(厚生労働省「2019年国民生活基礎調査の概況」)、高齢になるほどそのリスクは高まる。小樽市の高齢化率は40%を超えており、介護予防の観点から骨折予防の必要性は高い。
- 骨折の中でも、わずかな外力で生じる骨折(脆弱性骨折)を経験した人は、骨粗しょう症による再骨折をくり返すリスクが高い。
- しかし、現状の骨粗しょう症の治療率は十分でないことから、本事業を通じて治療率を向上させ、再骨折を予防することを目指した。

対象者

- 骨折部位の中でも特に要介護要因になりやすく、また医療費・介護費が高額になりやすい、大腿骨・椎体骨の骨折者を対象とした。
- 国民健康保険・後期高齢者医療の資格を有する者のうち、過去のレセプトデータ*から、脆弱性骨折を経験しているが、骨粗しょう症の治療履歴がない者(未治療者)、および治療が直近6か月で中断している者(治療中断者)。
*診療報酬明細書、本事業では2016年4月～2021年5月診療を使用範囲としている
- 未治療者239名、治療中断者287名の計526名に勧奨通知を発送した。
- 通知発送者のうち、後期高齢者かつ南部圏域の対象者は追加的な保健指導をすることとし、92名に電話・訪問による指導を実施した。



実施体制・スケジュール

- アムジエン株式会社、株式会社キャンサーズキャンと骨粗しょう症疾患啓発の協定を2021年10月に締結し、勧奨通知を10月29日に発送した。
- また一体的実施先行モデル実施として、南部圏域において11～12月に追加的な保健指導を実施した。

実施方法

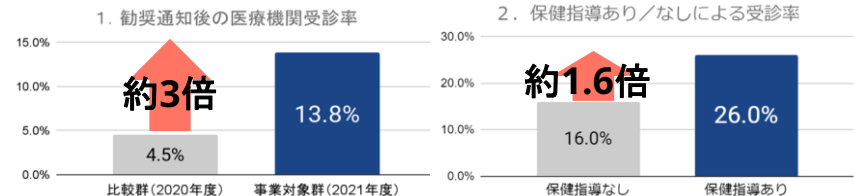
勧奨通知の内容

- 骨粗しょう症を自分ごと化し、行動変容を促す“ナッジ”として、対象者の過去の骨折歴を示し、「骨折歴のあるあなたへ小樽市からの大切なお知らせ」という印象を持たせるオーダーメイドの勧奨通知を作成した。また、市内の骨粗しょう症精密検査で連携している医療機関一覧を同封し、行動へと移しやすい動線を作った。※勧奨資材デザインは次頁を参照

事業結果・考察

勧奨結果

1. 通知送付6か月後(2021年11月～2022年4月)の骨粗しょう症の医療機関受診率は13.8%であり、比較群の約3倍受診率高かった。(比較群として、介入を実施しなかった2020年11月～2021年4月の医療機関受診率を設定した。)
2. 保健指導あり群の方がなし群より約1.6倍受診率が高かった。



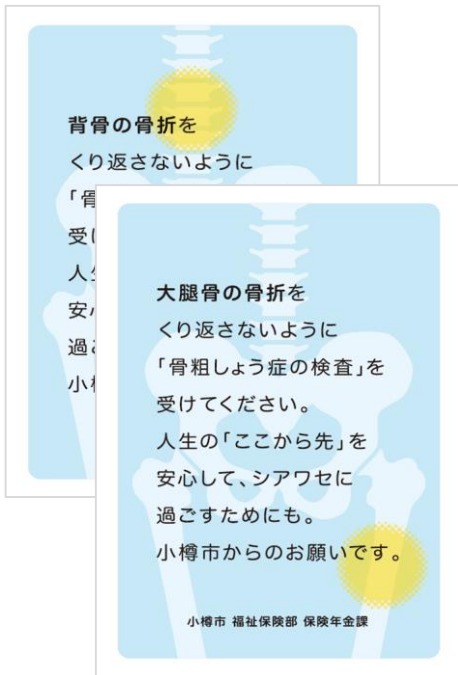
【その他の結果・考察】

3. 未治療者の受診率は85歳以上になると受診率が低下する傾向にあり、高齢になるほど、初回の医療受診につながりづらい可能性がある。
4. 治療中断者の受診率は70代後半から90代前半にかけては治療再開率高い傾向にあり、一度治療歴のある治療中断者は、高齢でも治療再開につながりやすい可能性がある。

事業概要

骨折歴(骨折傷病名と最終診療年月)を記載した案内状、医療機関リスト、リーフレットを封入した勧奨通知を送付した。

リーフレット表紙



リーフレット中面

1 一度骨折を経験している方はまた骨折する危険性が高まります。

原因と考えられる「骨粗しょう症」により再度、大腿骨の骨折をくりかえす危険性は4倍にもなるという研究があります。

4倍

3 「骨粗しょう症」は治療で改善できます。

飲み薬で骨代謝を日常的に改善
定期的な注射で骨そのものを強くする

診察の結果、医師から適切な治療法をご提案します。
再骨折による治療や介護による負担を軽減するためにも、早期の治療が大切です。

2 その原因と思われるのは「骨粗しょう症」の進行です。

年齢を重ねるとともに骨量は減少します。一般的には80%を下回ると骨粗しょう症と考えられています。

4 とくに骨折経験のある方はいまの状態を検査しましょう。

痛みのない検査で、骨粗しょう症の治療が必要かどうか分かります。問診のみで治療を開始する場合もありますので、医師にご相談ください。

医療機関一覧

令和3年10月19日現在

骨粗しょう症について相談できる市内の医療機関一覧

受診する医療機関を決める
※お申付先をお持ちの方は、お申付先にご相談ください。

STEP 1

医療機関へ確認する
※お申付先にお電話をいただく場合は、受付時間にお電話で確認ください。
予約が必要な医療機関や、診療可能時間が決まっている医療機関もございます。

STEP 2

受診する
※検査及び治療について医療機関にご相談ください。
※健康保険証のご持参をお願いいたします。

*「紹介状」が必要とある医療機関は、紹介状が必要です。他医療機関に属する中の方は医療機関にご相談ください。
 *「療養の対応」の欄は、対応可能な医療機関となります。●がなくても、骨粗しょう症の相談や診断は可能です。
 *なお、本事業の対象外(「対象外施設」の欄)である「医療機関」より「対応可能な施設」の欄へお電話でご確認ください。

医療機関名	住所	電話番号	紹介状	療養または 夜間対応	骨粗しょう症 の手-手前または お申付先
利久津内科医院	住/江1丁目8番16号	33-5678			
東亜中央病院	新元1丁目21番5号	54-6543			●
太田整形外科医院	現通町5番24号	62-3131		●	●
大樽内科外科クリニック	福2丁目34番3号	22-7089			●
大木内科クリニック	福通4丁目9番17号	24-0066			
小樽長崎内科	真通2丁目17番16号	33-3333			
おたみレディースクリニック	福通4丁目7番7号	25-4063			●
廣島小樽診療所	真通4丁目5番23号	25-5722	必要		●
ことぶ整形外科クリニック	福町11番1号	23-3057	必要		●
済生会小樽病院	南町10番1号	25-4321	※	●	●
札幌-すがた医院	福2丁目29番3号	23-8266		●	●
札幌病院	真通3丁目298番地	62-5851			●
おたみレディースクリニック	福通2丁目9番11号	24-6880			●
せのた内科クリニック	入船1丁目8番15号	22-7171			●

※紹介状なくとも受診は可能ですが、ある方が望ましいです。

▶ 一覧へつづく▶